



IELTS Writing 対策

IELTS Writing Section

Task 1

- 150語のエッセイ(20分くらいで)
- 図表について説明する
- 自分の意見や理由は言わない
- 与えられた図表によって書く内容がある程度決まってくる
- 点数配分はタスク2より低い
(3/1)

Task 2

- 250語のエッセイ (目安は40分以内)
- 与えられたトピックについて論じる
- 自分の意見や理由を言う
- 書く内容や論点は書き手次第である
- 点数配分はタスク1より高い
(3/2)

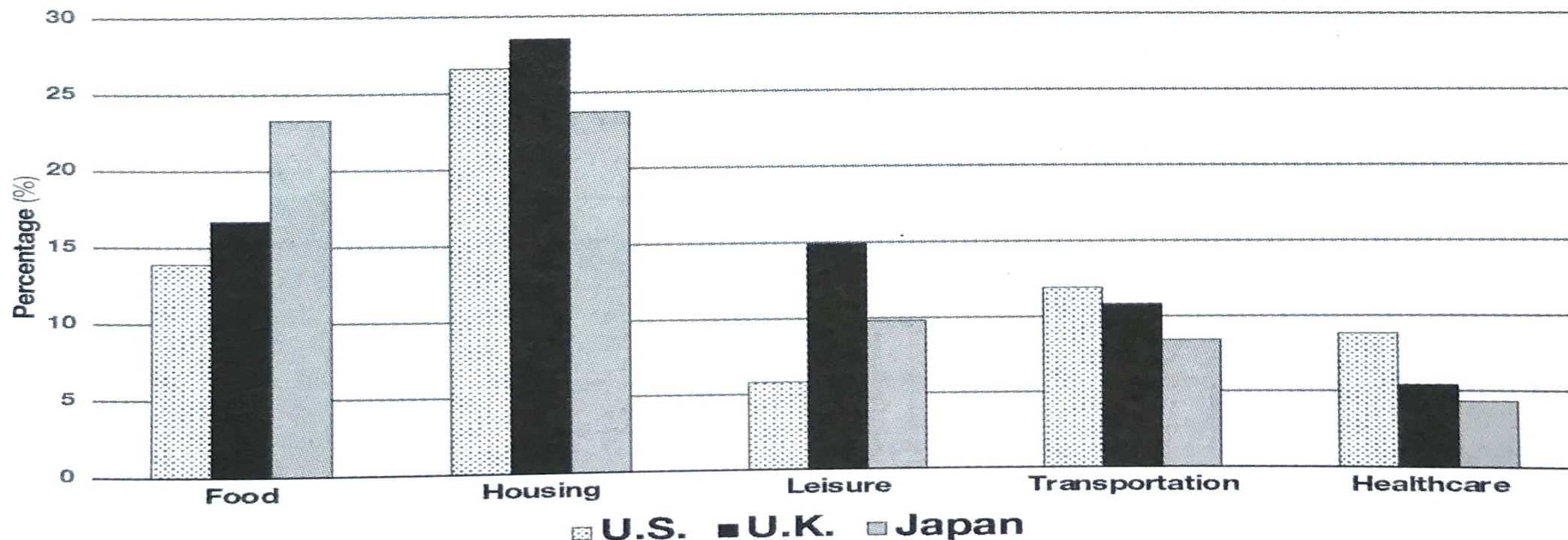
Task1 7種類のエッセイ 重要度順

1. Bar graph (棒グラフ)
2. Pie chart (円グラフ)
3. Table (表)
4. Line graph (折線グラフ)
5. Two charts (1-4のうち2種類のグラフ)
6. Plan (地図)
7. Diagram (ダイヤグラム)

1. Bar graph (棒グラフ)

bar chart と呼ばれ、最重要のタイプです。出題は「縦棒グラフ (vertical bar graph)」「横棒グラフ (horizontal bar graph)」「積み上げ棒グラフ (stacked bar graph)」のいずれかが出題されます。以下の例題は最も出題頻度が高い縦棒グラフ「対比型」です。

The graph below shows percentages of consumer spending in the United States, the United Kingdom, and Japan in 2014.



* U.S. BUREAU OF LABOR STATISTICS より抜粋

Task 2 頻出10大テーマ

1. Education

2. Environment

3. Media

4. Modern Science

5. Business and economy

6. Science and technology

7. Philosophy of life

8. Social problems

9. Arts and entertainment

10. Gender

IELTS Writing Task1&2の共通ポイント

- 問題を正確に理解する必要がある
- 書き始める前に必ずエッセイの計画を立てる必要がある
- 問題内容の取り違えは減点の対象となる
- 「一貫性をつながり」と「語彙力と文法力」は
同じ比重で採点される

IELTS Writing スコアアップ文法

- **主語と動詞の一致**
- **代名詞が何を指すかを明確にする**
- **分詞構文を駆使する**
- **無生物主語中心で書く**
- **関係代名詞の非制限用法を使う**

Writingの学習法 音読筆写のやり方

- まず、モデルアンサーを理解する（語彙チェックなど）。
- モデルアンサーを音読する。
- その後、ノートに一行一行音読しながらモデルアンサーをノートに写す。
- 仕上げて自分のノートに写したモデルアンサーを音読する。
- 何日かした後、問題を解いてみて自分の答えとモデルアンサーを見比べてみて必要であればもう一度モデルアンサーを音読筆写してみる。

IELTS Writing 対策に有効なウェブサイト
→**The Economist**
(元試験官のSimon先生からのアドバイス)

良質な英文を多読すること！！

Task 1は、**グラフや表を素早く分析する能力**も
必要。Task 2は、**テーマ別語彙と背景知識**が
重要課題。

